

暮らしやすい社会の実現に向けて 第57回「社会を明るくする運動」南島原市中学生弁論大会

7月25日(木)、ありえコレジヨホールで、第57回「社会を明るくする運動」南島原市中学生弁論大会が開催され、8つの市立中学校から16人の弁士が集まり、迫力ある発表を行いました。

「犯罪や非行のない、だれもが暮らしやすい社会の実現に向けて私たちにできることを考えましょう」をスローガンに開催されたこの大会は、島原地区保護司会・南島原市・長崎保護観察所が主催し開催。弁論大会やビデオによる保護司活動の研修に、市内各地から多数の参加がありました。

弁論大会では、「論旨」「表現」の2つの項目が審査基準となりましたが、いずれの発表者も迫力のある声、表情、内容で、菅弘賢審査委員長は「どの弁論も甲乙つけがたく、すべてにすばらしいものがあった」と講評しました。



南島原市中学生弁論大会受賞者

<p><b>最優秀賞</b></p> <p>有家中学校 3年 くまの ちひろ 草野 千裕さん 演題 いってきまーす</p> <p>自分が悩んで落ち込んでいるときも、母親の心の中も「いってらっしゃーい」という元気なあいさつで救われました。心の中もあいつはみんなを笑顔にします。</p>	<p><b>優秀賞</b></p> <p>南有馬中学校 3年 ながの あい 永野 亜依さん 演題 この世に生まれた人間として</p> <p>連日の自殺のニュースを聞くたびに、憤りを感じます。「今せいっぱい生きていますか？」将来は教師になって自分の笑顔で身近な人を救いたいです。</p>	<p><b>優秀賞</b></p> <p>南有馬中学校 3年 ほんだ りょうま 本多 亮麻さん 演題 同じ地球に生きる者として</p> <p>命は生きるもの全てに平等なものであるはず。身近な人の困難に気づき、困っている人がいれば助けましょう。</p>	<p><b>優秀賞</b></p> <p>口之津中学校 2年 くちだ ゆみ 寺田 優美さん 演題 言葉</p> <p>10歳の時にあった、2分の1成人式でのあたたかい母の言葉はいまでも心に残ります。「生まれてきてくれてありがとう」</p>
<p><b>努力賞</b></p> <p>加津佐中学校 3年 あやべ あいか 綾部 舞花さん 演題 私の七十五日間</p> <p>けがを通して、過去ではなく前向きな気持ちの大切さに気づきました。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>口之津中学校 3年 さだか めい 定方 恵未さん 演題 嘘の残酷さ</p> <p>“うそ”は人の心に深い傷を残し、必ずバレます。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>北有馬中学校 3年 ひらの ゆき 平野 佑季さん 演題 心ってなんだろう？</p> <p>たった一度の人生、自分の心と上手につきあって！</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>西有家中学校 3年 うらき なな 植木 那菜さん 演題 自分を振り返る</p> <p>「勝って喜ばれる選手になりなさい」の教えを大切に。</p>
<p><b>努力賞</b></p> <p>有家中学校 3年 はくかわ かずし 伯川 和司さん 演題 向こう三軒両隣</p> <p>人と人のふれあいの中で、あいさつはとても大切です。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>布津中学校 3年 やまだ あゆの 山田 綾乃さん 演題 今私にできること</p> <p>「いじめも戦争も同じ」世界の一として人を思いやるのが大事。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>深江中学校 3年 ふくしま いほむ 福島 勇さん 演題 努力</p> <p>負けて気づいたこと、「努力に勝る天才無し」</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>加津佐中学校 3年 こまつ あつし 小松 篤史さん 演題 物事のとらえ方～責任～</p> <p>自分の行動に責任を持ち、他人に迷惑をかけるな！</p>
<p><b>努力賞</b></p> <p>北有馬中学校 1年 はやしだ さきこ 林田 幸子さん 演題 偽りのない友情</p> <p>いじめは、いじめている人だけでなく、周りの人も悪い。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>西有家中学校 3年 まつもと みさと 松本 美里さん 演題 失敗は成功のもと</p> <p>人が失敗するのはあたりまえ、小さな失敗を恐れないで。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>布津中学校 3年 なかの あゆみ 中野 歩さん 演題 本当の幸せ</p> <p>命があることは“あたりまえ”ではなく、見守っている家族がいます。</p>	<p><b>努力賞</b></p> <p>深江中学校 3年 みずた しんのすけ 水田 真之介さん 演題 本当の平和</p> <p>平和な日本だからいじめがある。本当の平和を見失っているのでは？</p>

南島原市の夏の風物詩 マリンフェスタinくちのつ2007

7月21日～22日、29日にかけ口之津町で「マリンフェスタ in くちのつ2007」が開催され、多くの地元市民や観光客などで賑わいました。

21日のオープニングではカッター試乗や前夜祭が行われ、伝統芸能の先踊りや口加高校吹奏楽部の演奏などで祭りを盛り上げました。22日は恒例の島原半島ペーロン大会が行われ賞金10万円をかけ、激しいレースが繰り広げられました。夜には水上花火や仕掛け花火など2000発の花火が港町を幻想的に彩り、観客を魅了しました。

また29日の水着撮影会には県内外から200人ほどの写真愛好家が集まり、撮影の技を競い合いました。「北九州から来ました」という男性は、「最近このような撮影会が激減しているので、とても楽しみにしてきました」とプロ顔負けの機材を片手に話しました。



食事のマナーも大切です  
夏休み親子料理教室

8月7日(火)、原城オアシスセンターで、白木野小学校PTAによる夏休み親子料理教室があり、子どもたちは魚料理や白玉団子づくりなどに挑戦しました。

きっかけは同PTAの給食部会で「子どもたちが魚料理をあまり食べない」「食事のマナーが悪い」という意見が多くあったことから今回の企画が決定。

魚料理は“フィッシュバーグ”で、ほかにも地元のアスパラやタマネギを使った料理を選択しました。子どもたちに「自信作はどの料理？」と尋ねると、「全部上手にできたよ！」と元気な返事が返ってきました。

あわせて行われた食生活改善「わかば会」によるマナー講座では、イラストを使って、はしの使い方やマナーを説明。参加者ははしを手に持ち、正しい持ち方を確認していました。



羅源県との友好新たに  
中国福建省外事代表団が訪問

7月23日(月)、福建省からの代表団が南島原市役所を訪れ、これまで交流を続けてきた羅源県との友好を新たにしました。今回、王天明(おう てんめい)福建省人民政府外事弁公室副主任を代表とした5名の代表団は、長崎県・福建省友好県省締結25周年記念事業事前協議として来県。福建省羅源県と南島原市は1997年の旧北有馬町時代から交流があり、友好関係を築いてきました。

王団長は「温かい歓迎に感謝しています。今後も引き続き交流を行い、皆さんも羅源県へ来てください」とあいさつしました。それに対し元山副市長は「南島原市はそうめんの産地として有名ですが、そうめん発祥の地は中国であり、皆さんのことは身近に感じます」と歓迎しました。最後は記念品を交換し、引き続き友好関係を深めていくことを確認しました。

